

平成25年8月9日

照会先 健康局がん対策・健康増進課

赤羽根（内線2945）

山下（内線4603）

（直通電話）03-3595-2245

今後のがん研究のあり方に関する有識者会議報告書について

「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」（座長：堀田知光 独立行政法人国立がん研究センター 理事長）において、がん対策推進基本計画に基づき、我が国全体で進めるがん研究の今後のあるべき方向性と具体的な研究事項等について検討を行い、報告書を取りまとめました。

これは、平成16年からの「第3次対がん10か年総合戦略」が、平成25年度に終了することを踏まえ、今後のがん研究のあり方を総合的に検討するために、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の3省にて協働し、有識者の方々に検討いただいたものです。

本報告書では、「根治・予防・共生 ～患者・社会と協働するがん研究～」をキャッチフレーズに研究を推進すること等を提言しています。

今後、本報告書や政府においてとりまとめられる医療分野の研究開発に関する総合戦略の検討を踏まえつつ、平成25年度に終了する「第3次対がん10か年総合戦略」に代わる、新たながん研究戦略がとりまとめられることとなります。

資料 今後のがん研究のあり方について

「根治・予防・共生 ～患者・社会と協働するがん研究～」

文部科学省研究振興局
厚生労働省健康局
経済産業省商務情報政策局